



10月11日に迫川でコハクチョウ（成鳥12羽）の初飛来が確認されました。平年より2日遅く、昨年より3日遅い飛来でした。

Vol.125

令和2年度11月号

伊豆沼・内沼でゼニタナゴの撮影に初成功！

沼で復活し始めたゼニタナゴの撮影に、初めて成功しました！オオクチバスの駆除活動により、5年前に戻ってきたゼニタナゴ。これまでは数が少なく、その確認は困難でしたが、昨年度、繁殖が確認され、いよいよ本格的に回復が進んできました。今回撮影されたゼニタナゴはオス1個体とメス2個体。二枚貝のそばを泳いでいました。

全国でも10ヶ所程度しか生息していないゼニタナゴ。世界でも湖で見られる場所はここしかありません。バス駆除によって戻ってきた希少魚に私たちも心が躍る日々を送っています。



本当はこんなにキレイだよ



濁った水の中で泳ぐゼニタナゴのオス(①)。婚姻色であるピンク色が見える。後ろの黒い影(②)は二枚貝。メスが来るのを待っていたのかもしれない。

自然体験講座で漁師を体験！

10月4日(日)に開催された第1回自然体験講座に小学生10人とその家族13人が参加しました。今回のテーマは「伊豆沼漁師体験」。参加者の方々には様々な漁具を使って、伊豆沼に棲む生き物の捕獲に挑戦してもらいました。

「お魚キラー」と呼ばれるかご罟は、エサを入れ、池に仕掛けるところから挑戦。引き揚げると、たくさんのタイリクバラタナゴが獲れました。また、「あいかご」という大型のかご罟では、ナマズやウシガエルなどの大きな生き物がかかり、子供たちから大きな歓声が上がりました。このほかにも、タモ網を使った採集や沼に設置した定置網の引き揚げなどを行い、多くの生き物を観察することができました。



初めて使うお魚キラー。引き揚げたら大漁でした！



あいかごで捕獲したウシガエルのつかみ取り。



定置網ではモツゴなどの小魚や、ウナギも獲れました。

県内各地から環境学習



当センターは水辺の環境学習の場として、さまざまな環境学習活動を提供しています。10月には栗原市や仙台、石巻や気仙沼など、県内各地の学校から、小学生から大学生、先生方が訪れ、伊豆沼・内沼で環境学習を行いました。定置網による魚介類の採集や水草の保全活動など、幅広いメニューが参加者から好評です。皆様方のまたの来館を楽しみにしています。

金成小のみなさん



鶯沢小のみなさん



専修大のみなさん

大崎小のみなさん

二華高のみなさん



— 伊豆沼・内沼生き物図鑑 (コウノトリ) —

9月中旬に伊豆沼1、2工区の水田にコウノトリが現れました。装着している足環から、今年4月に千葉県野田市で生まれ、7月に飛び立ったオスのコウノトリ「たいよう」君ということがわかりました。

コウノトリが滞在するには、ドジョウやカエルなどの食物が豊富で豊かな生態系が必要です。伊豆沼北部の水田はコウノトリにとっても居心地のよい場所なのでしょう。

